



江戸川橋コース

徒歩帰宅訓練は、私は第4コース「江戸川橋駅」コースの担当である。このコース、全31名であるが、15Rはどういうわけか●●さんたった一人で、ちょっと寂しそう。

さて、15R教室に集合して点呼、トイレなどを済ませた上で、詳しい地図を配布して、特に注意してほしい大通りの信号などについて説明する。最終的な注意点を確認し、いよいよ隊列を作って各人の点呼番号を割り振り出発である。先頭は私で、しんがり情報のM田先生。生徒の先頭には、●●さんを指名する。校門を出たのが、ちょうど3時くらいであった。

永田町駅に向かって歩くが、早速生徒番号1番の●●さんから「先生、早足過ぎます！」と苦情が出る。仕方ないので、歩調は変えずに歩幅を小さくしてみる。おかげで、毎日万歩計をつけているのであるが、その記録が18429歩！ 前回、M田先生と下見した時は15582歩だったので、小股のペンギン歩きが功を奏した記録更新である？

永田町では、国道246を渡る際に、メトロの駅に通じる地下道を利用する。始めて通ったという生徒も多く、それなりに好評。

地上に出て、都道府県会館の横から麴町中学校の前に出る。「番町小→麴町中→日比谷高→東大が昔のエリートコースだった」と紹介するが、反応は今一つ。道の反対側にあるのは、今は廃業してしまったプリンスホテルの旧館で、洋館風の外観が素敵である。

メトロ麴町駅を通り過ぎて新宿通りを横

断。ここからはちょっと下り坂。日テレの前を通りすぎると、「地学会館」なるものを発見。「ここはN田先生の聖地なんだよ！」などとホラを吹いておく。(生徒諸君はかなり信じていたようだが…笑)

そうこうしているうちに市ヶ谷到着。外堀公園側を通って飯田橋を目指す。ここは割と静かな通りで、下校してくる三輪田学園や嘉悦女子高の女学生たちとすれ違う。ちょうど行程の中間点くらいなので、人通りの少ない場所でちょっと休憩しながら点呼をとる。M田先生も含め？生徒31名全員が無事に続いておりホッとす。

この辺りは、東京理科大や法政大学が立ち並んでおり、通信病院まであるので、実際に歩いて帰宅することになった際、援助を受けられるかもしれないので注意を促しておく。JR飯田橋の横にあるのは日本歯科大。このまま神楽坂散歩に行きたいところだが、グッと我慢して、人の波をかき分けながら飯田橋交差点を目指す。

ここからは大きな目白通り沿いの道で、今一つ面白くない。出発してから1時間近く経過したことも手伝って、ず〜っとお喋りをしていた生徒たちもちょっと疲れきたようだ。その証拠に「先生、あとどのくらい？」の質問が出始める。でも、ここまで来ればもう一息。安全な歩道を歩いてゴールを目指す。

全員が江戸川橋駅に到着したのは4時15分ごろ。最後の点呼をとって解散。M田先生と学校に報告をして無事終了である。